

事務事業評価シート

事業番号 23	事務事業名 集団回収奨励金	所管部課 ごみ減量推進課
------------	------------------	-----------------

事務事業の概要	事務事業の目的【1】	根拠法令等【2】
	資源物(古紙・古布)の集団回収を行う団体に対し、奨励金を交付することにより、ごみその他の廃棄物の減量化及び資源物の再利用化を図るとともに、団体のごみの回収運動を促進し、市民の資源の有効利用についての認識を深めることを目的とする。 【根拠法令等:西東京市集団回収奨励金交付要綱】	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則等 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要【3】 【事業内容／実施方法】 市は集団回収を実施する団体からの登録申請を受け、回収業者へ回収を委託する。毎年度4月から翌年3月までに、各登録団体が集めた資源物(古紙・古布)を市が委託する資源回収業者が回収し、回収した量に応じて1キログラム当たり7円を限度に各団体に奨励金を年1回交付する。1団体当たりの交付額平均55千円(令和5年度) 【団体の要件】 ・団体を組織する構成員が西東京市内の住民であること ・資源物の回収を業として行う団体ではないこと ・5世帯以上の参加がある団体であること(特別の事情があると市長が認めた場合はこの限りではない。) ・資源物の回収を団体で月1回以上実施すること	
事業開始時期【4】	合併前	実施形態【5】 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (決算見込額)	令和6年度 (予算額)	単位	
		事業費(A)【6】	26,437	25,212	23,932	24,812	千円
内訳	主要な経費: 集団回収奨励金	18,394	17,528	16,608	17,241		
	その他: 集団回収収集運搬委託料	8,043	7,684	7,324	7,571		
財源	国庫支出金・都支出金						
	地方債						
	その他 ()						
内訳	一般財源	26,437	25,212	23,932	24,812		
	所要人員(B)【7】	0.17	0.17	0.17	0.17	人	
	人件費(C)=平均給与×(B)	1,270	1,248	1,248	1,248	千円	
	会計年度任用職員報酬等(C')【8】					千円	
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	27,707	26,460	25,180	26,060	千円	
	単位当たりコスト【9】 (E)=(D)/ (資源物回収量)	11	11	11	—	千円	

評価指標	指標名	令和3年度 (実績値)	令和4年度 (実績値)	令和5年度 (実績値)	令和6年度	単位
	① 登録団体数	321	305	296		団体
	② 資源物回収量	2,631	2,508	2,376		t
【10】	《指標の説明・数値変化の理由 など》【11】 ①構成員の高齢化等により、登録団体数は減少傾向にある。 自治会等 115団体 マンション管理組合等 183団体 (R6.3.31時点) ②回収量の減少要因としては、登録団体数の減少や、電子化によるペーパーレス化による印刷物の減少によるものと考えらる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見【12】 (アンケート結果など)	集団回収を実施することで、地域コミュニティの活性化に繋がるといった意見もある。一方、通常回収で古紙・古布類も戸別収集になったことで自宅敷地内に出せるため、集団回収は管理が必要で手間がかかり大変であるとの意見もある。	
	他団体のサービス水準との比較【13】 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	26市以外の自治体でも実施しているが、回収事業者へ支払う委託料の有無や回収品目ごとの奨励金単価など、実施方法は異なっている。近隣市(小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市)における奨励金単価(1キログラム当たり)を比較すると本市は中位となっている。
	代替・類似サービスの有無【14】	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

【一次評価】

検証項目【15】		判定	判定理由
A	事業の必要性	低い	事業の優先度(緊急性)は低いが、事業が廃止となると市民生活に影響が生ずる。
	実施主体の妥当性	適切	市民の資源化への意識を高め、ごみの減量に繋げる取組であり、市が主体となって行うべきである。
B	事業(補助)の対象	適切	一定数の世帯で組織された団体に対して補助を行うことで資源化への意識醸成ができるため適切である。
	事業(補助)の内容	課題有	7円/kgの奨励金については、他市の状況を鑑みて単価を検討する必要がある。
	受益者負担	—	受益者負担の考え方には該当しない。
	事業コスト	普通	他自治体との1トン当たりの回収費用の比較では、標準的なコストである。
	業務負担	少ない	毎月の集団回収量のシステムへの入力が必要なものであるが、年度末の奨励金交付手続きに事務が集中している。
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目			
一次評価【16】		評価の判断理由及び現状の課題など【17】	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止		平成30年度の事務事業評価では、経費について行政回収より割高となっていることが指摘された。しかし、当時と異なり、近年では古紙・古布の売払いによる歳入が見込めなくなったことや、市全体の古紙・古布の回収量が減少していることから、令和5年度時点では、集団回収の方が、行政回収に比べ回収量単位当たりの単価は低廉となっており、この傾向は今後も継続することが予想される。令和元年度に古紙・古布類の戸別収集が開始されたことや、構成員の高齢化等により登録団体数が減少していることから、事業の周知に努めつつ、継続実施することが望ましい。	

【二次評価】

検証項目		判定	判定理由
A	事業の必要性	普通	資源物の回収の観点から、市民生活に密接に影響する本事業の必要性は普通と判定する。
	実施主体の妥当性	適切	市民の資源化への意識を高めごみの減量に繋げる取組であり、市が主体となって行うべきである。
B	事業(補助)の対象	適切	一定数の世帯で組織された団体に対して補助を行うことで資源化への意識醸成ができるため適切である。
	事業(補助)の内容	課題有	現在7円/kgの奨励金については、団体の意欲及び他市の状況を鑑みて単価を検討する必要がある。
	受益者負担	—	受益者負担の考え方には該当しない。
	事業コスト	普通	他自治体との1トン当たりの回収費用の比較では、標準的なコストである。
	業務負担	少ない	毎月の集団回収量のシステムへの入力が必要なものであるが、年度末の奨励金交付手続きに事務が集中している。
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目			
二次評価【16】		評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【17】	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止		本事業は、廃棄物の減量化及び資源物の再利用化に寄与している。戸別収集となった現在でも、市民の資源の有効利用についての認識を深めるためにも実施の意義がある上、市の財政的にも有利であるならば、引き続き継続することが望ましいと考える。また、地域コミュニティの活性化にも資する事業であり、その観点からも登録団体数の増加に向けた取組が必要であることから、より効果的な周知方法等について検討されたい。	

【外部評価】

外部評価【16】	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【17】
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価【16】	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【17】
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

改善の方向性と今後のスケジュール【18】	
----------------------	--